Reflex Racing RX1161 / RX1164 ダンパーチューブ加工手順

Reflex Racing の RX1161 または RX1164 に含まれるプラスチックダンパーチューブは使用する前に加工が必要です

１）スプリングカラーを装着します。ほんの少しデフグリースを塗布すると緩みを防止できます

２）４つのピポッドボールを加工します。写真右側の長い方のフランジを短くします。短い方のフランジを加工しないよう注意しましょう

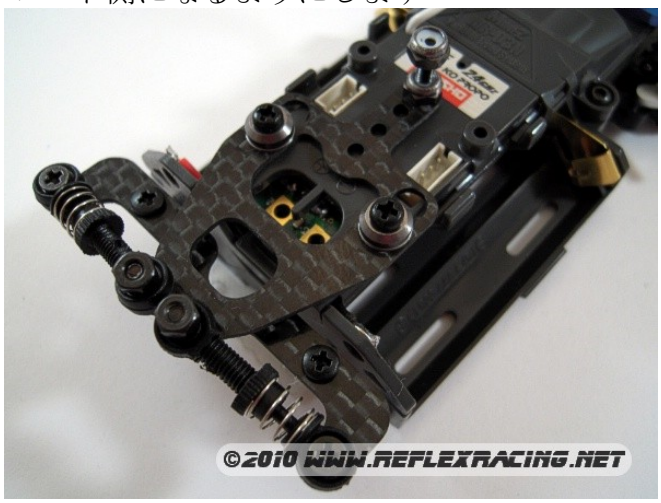
３）２つのピポッドを次のように加工します。長い方のフランジを 1.5mm 残してカットします（写真左側がカットされた方）

４）残り２つのピポッドボールを次のように加工します。長い方のフランジを 0.5mm 残してカットします（写真右側がカットされた方）

５）1.5mm 残してカットしたピポッドボールをこちら側のボールエンドに装着します

６）0.5mm 残してカットしたピポッドボールをこちら側のボールエンドに装着します

７）ダンパチューブがスムーズに動くようシャフトを紙やすりで軽く削ります。そしてグリースを塗布します。セッティングのスタートは５０００番をお勧めします。グリップが悪い路面では３０００番、グリップの良い路面では７０００～１００００番を使うと良い結果が得られます

８）カッターや細いドリル刃でこの部分に小さな穴を開けます。こうすることでダンパーチューブが伸縮したときに空気の出入りがスムーズになります

９）カーボンプレートにダンパーチューブを固定します。ピポッドボールの加工してないフランジがカーボンプレート側になるようにします